


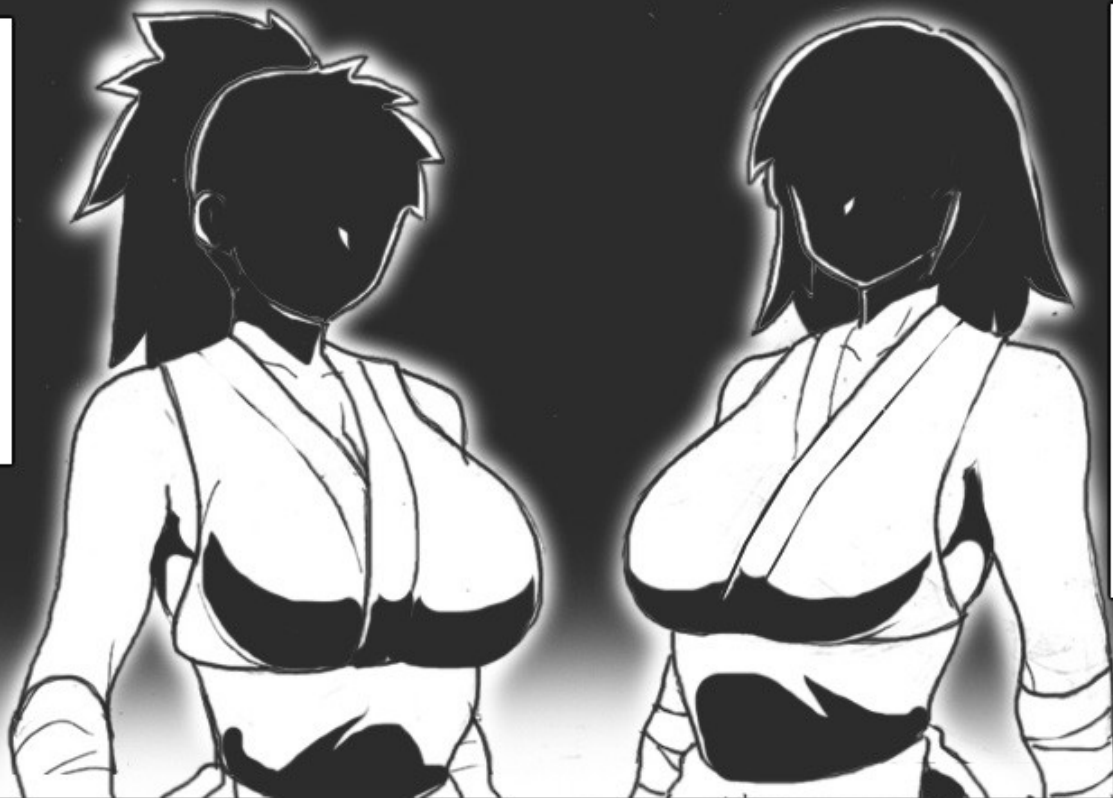


淫魔忍辱伝






その昔
「淫妖」と呼ばれる
触手状の異形が
どこからともなく現れ
男女問わず捕えた人間を
激しい快樂責めによって
果てるまで責め抜いた後
その身を喰らっていた




無差別に人間を襲うこの異形を狩るべく
人知を超えた力「靈力」を操る事が出来る
二つの忍衆「彩河衆（さいがしゅう）」と
「洗夜衆（こしやしゅう）」が手を結び

力を合わせ幾度も淫妖を
靈力を取り入れた技によって
打倒してきた



しかし「彩河衆」の頭領はある時
不覚をとって淫妖の淫らな責めを
その身に受けたことで
淫妖の快樂の虜となってしまう
配下共々淫妖をその身に取り込んで
本能の赴くままに人間を襲い
犯し喰らう不老の人外へ変貌してしまう



最大の味方だった彩河衆が
最大の敵となった洗夜衆は
これに対抗すべく全国から
力のある人間を集め
淫妖と人外となった彩河衆との
長い戦いに身を投じる事となる

それから二五〇年後…

不老となり今もなお
人を弄び続ける彩河衆と

人との繋がりによって
代々技と霊力を継いできた
洗夜衆との戦いは
今現在も続けられていた





ハア…ハア…
くそっ…!!

こっちはもう
ギリギリだっというのに
涼しい顔しやがって…!!

洗夜衆
洗夜 早紀 (こうや さき)



フフ…アタシ達彩河と違って
寿命に限りのある洗夜は
大分技を受け継ぐ人間が
減ってしまったみたいだねえ

お前のような
美味そうな小娘が
出張らないと
いけないとはねえ!

彩河衆
穿那 (せんな)



洗夜の小娘！
生け捕りにして
たあっぷり快樂漬けにして
トロトロにしてから
喰らうには最高の獲物だ！



アハハハ！
動きはなかなかだが
まだまだ練度が足りない
だからもう息が
あがってるんだよ！

ふ…ふざけんな！
誰がお前なんかに！



生け捕りに
するのは
容易いわ！



そんな未熟な
お前など



アタシ達彩河は
体の中に淫妖を
「飼って」いてソレを
自在に使用する事が
出来るのさ



小娘の分際で
やたら発育の良い
この乳房を…



んっ!



あッ

さあて
どんな風に
可愛がって
やろうか？



未熟なのは
技だけじゃあ
無いようねえ

やめろ……!

グッ



！
小娘お前…



面白…!



オ
ッ!

う...うるさい!
マジマジと
見んなあ!

ハッ!
本当小娘だねえ!

クスッ
先端までしっかり
隠れちゃって...
カワイイ♪

ギガ

グ
ッ





ふ…ふざけんな！
お前なんか
屈するもの…



思った以上に
奥に引っ込んでるねえ
お前の乳頭

やめ…ろ！



ホラ：
人差し指が
半分近く入った

まるでアタシの指を
しゃぶってるみたい♪



あッ

あッ!!

クワッ

クワッ

クワッ

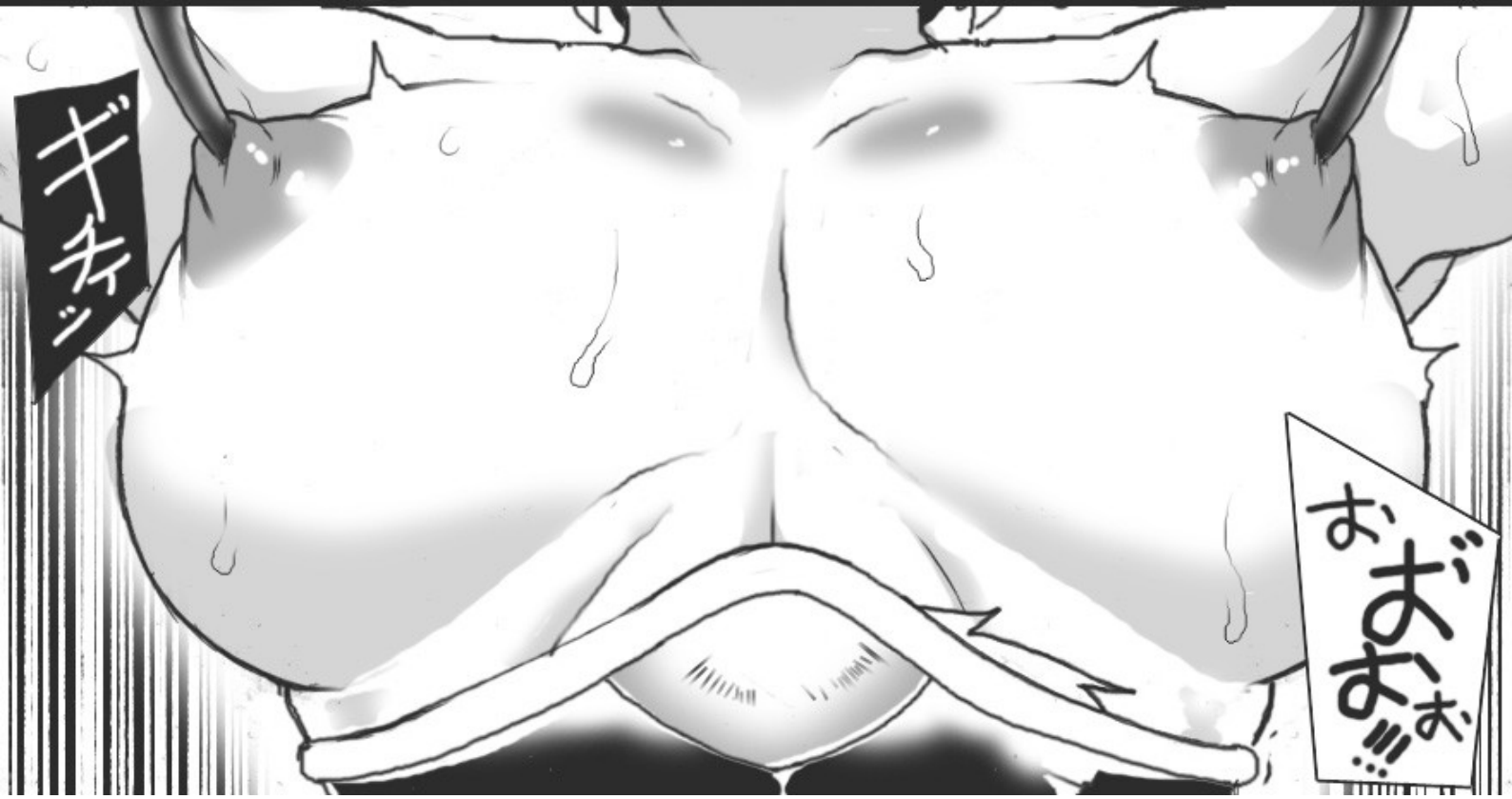
クワッ

あッ!!

だっ
!!

このアタシの
お気に入り
の淫妖を使
ってねえ♪

うら
!!



ほおらこれで
アタシの乳首と
おんなじ♪

くっ
くっ
くっ



あ

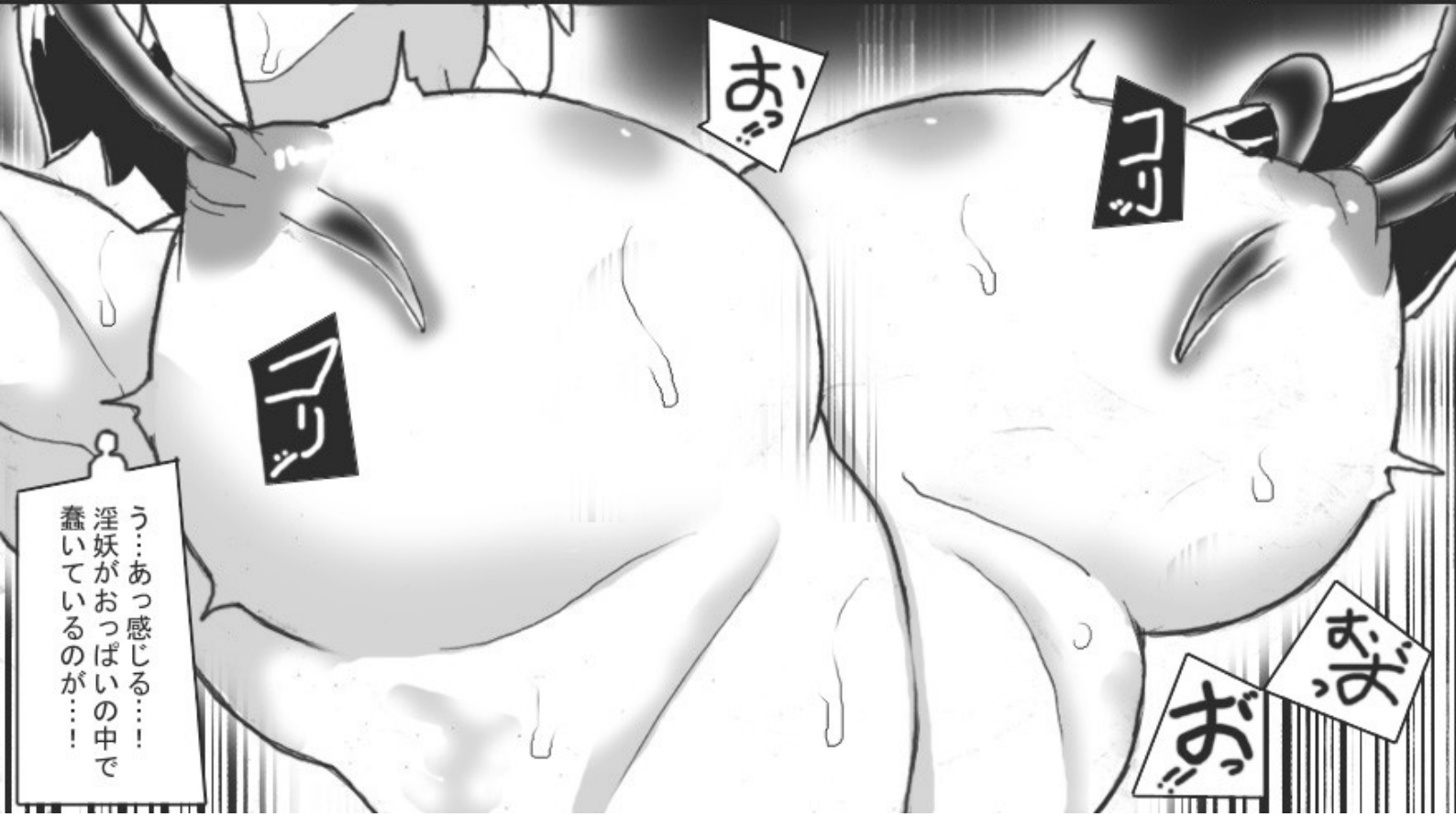
アッ

アッ

お

お

う…あっ感じる…!!
淫妖がおっぱいの中で
蠢いているのが…!!



アハッ♪
肉を穿られるのは
痛いかい？
気持ち悪いかい？

ぐあゝ
!!

グッ
ッ

だけど淫妖の責めは
その感覚さえ
快感に変えていく

グ
ン♡

コ
ッ

コ
ッ

アタシの身体はもう
この刺激じゃなきゃ
満足できないのさあ！

グ
ッ♡



無駄無駄
お前もすぐに
この快樂の虜と
なるのさ!

抗おうと
しているのかい?

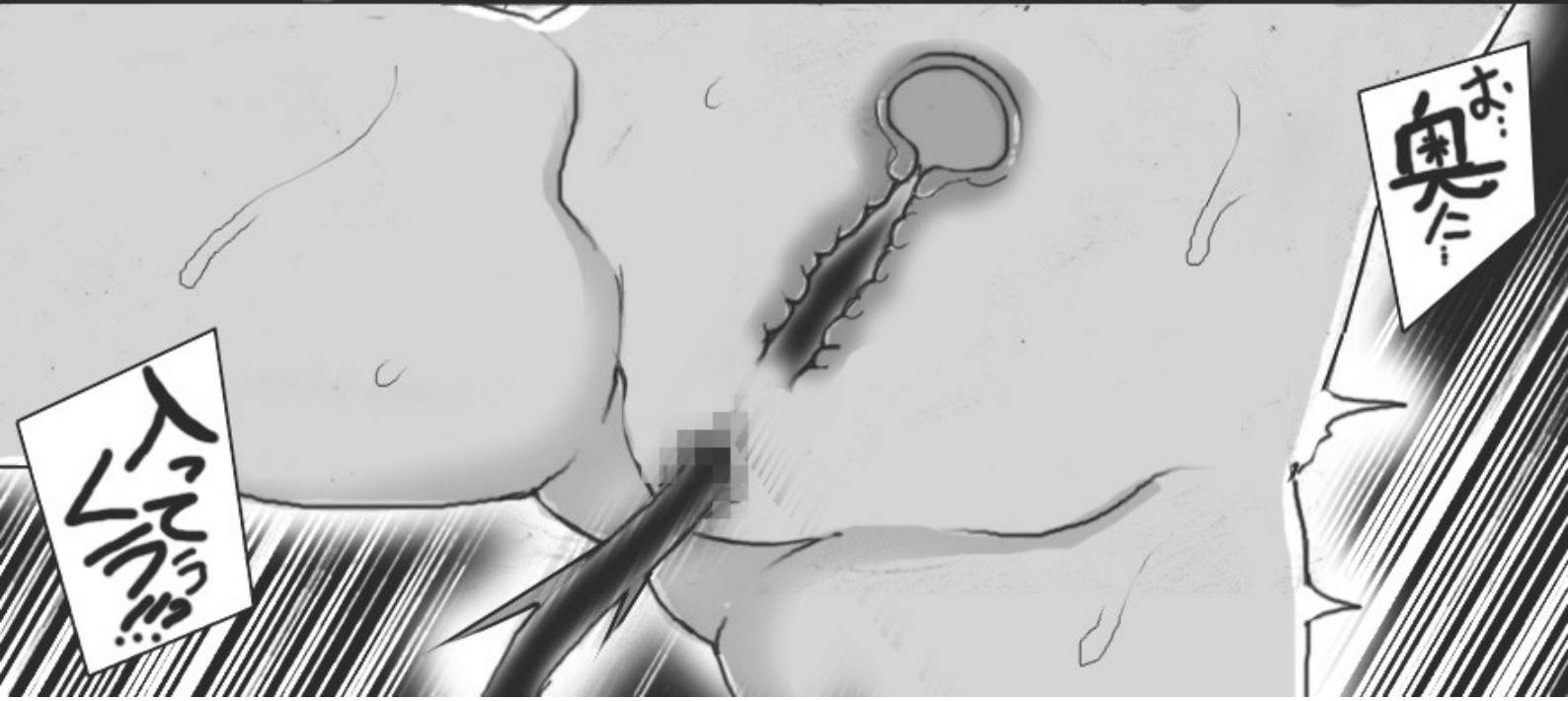
く……じ……

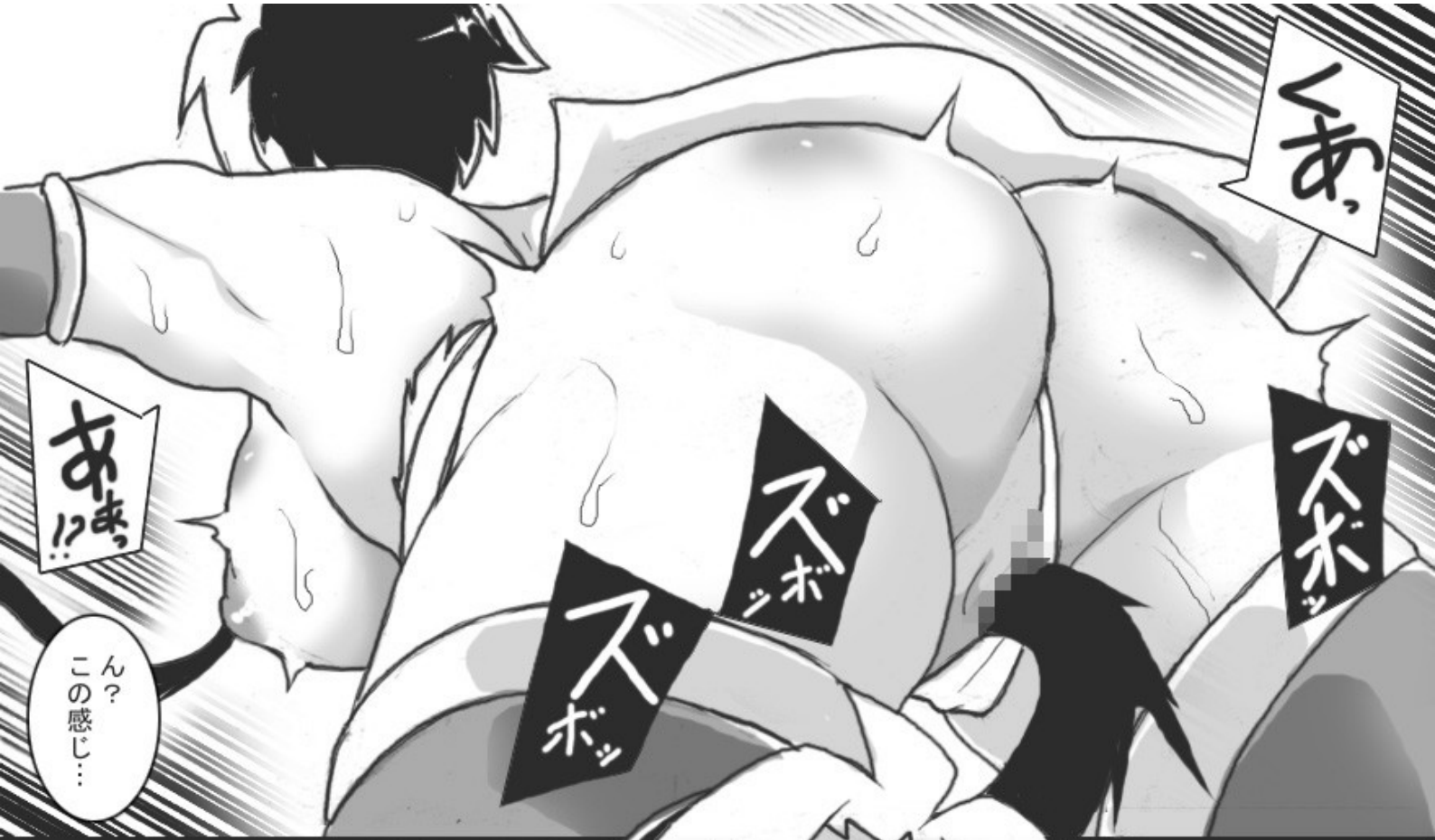
ズ
ッ

「下」のほうも
たあつぷり
穿ってやるよ

!?



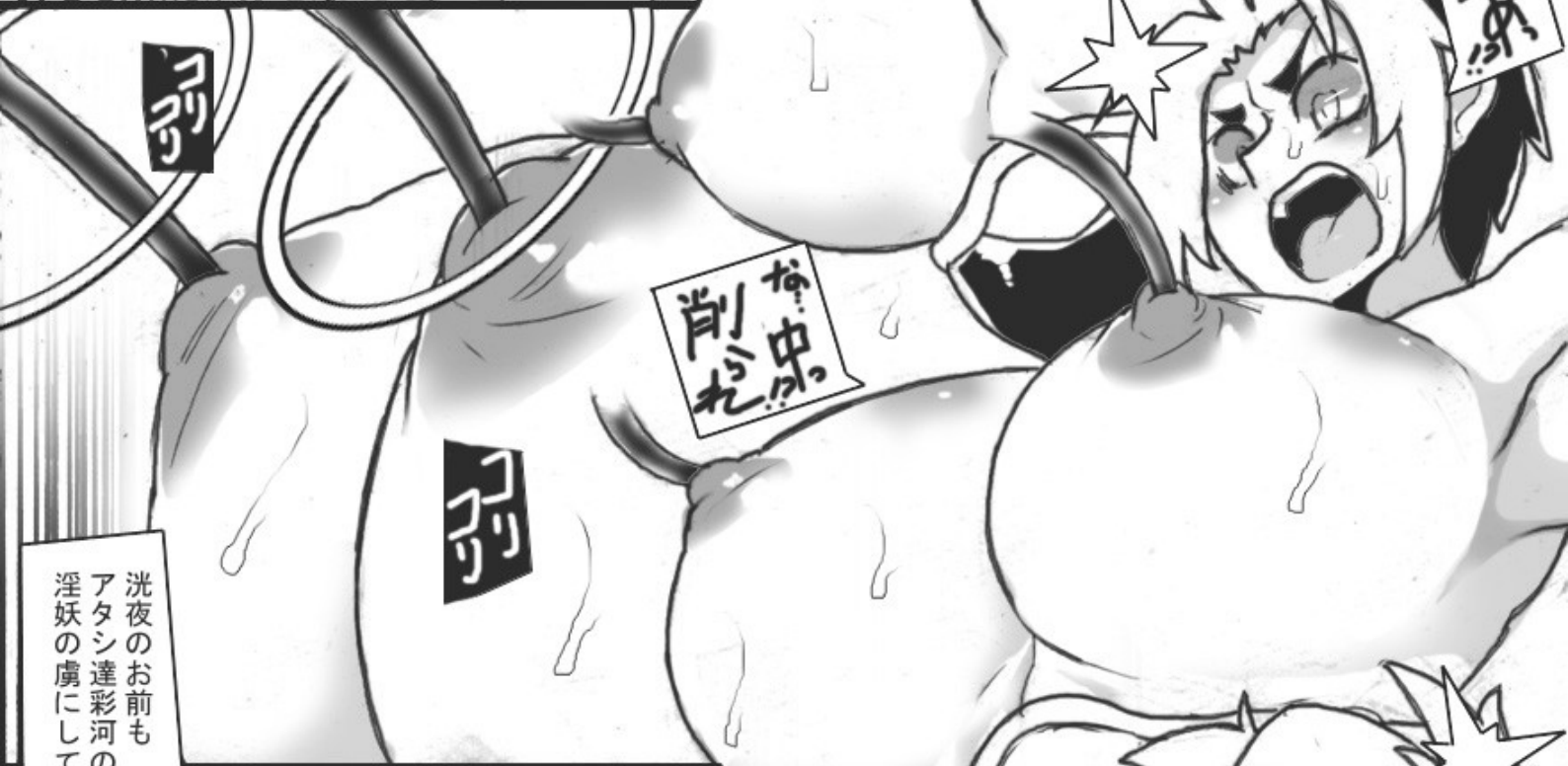






あぶ

んん!!

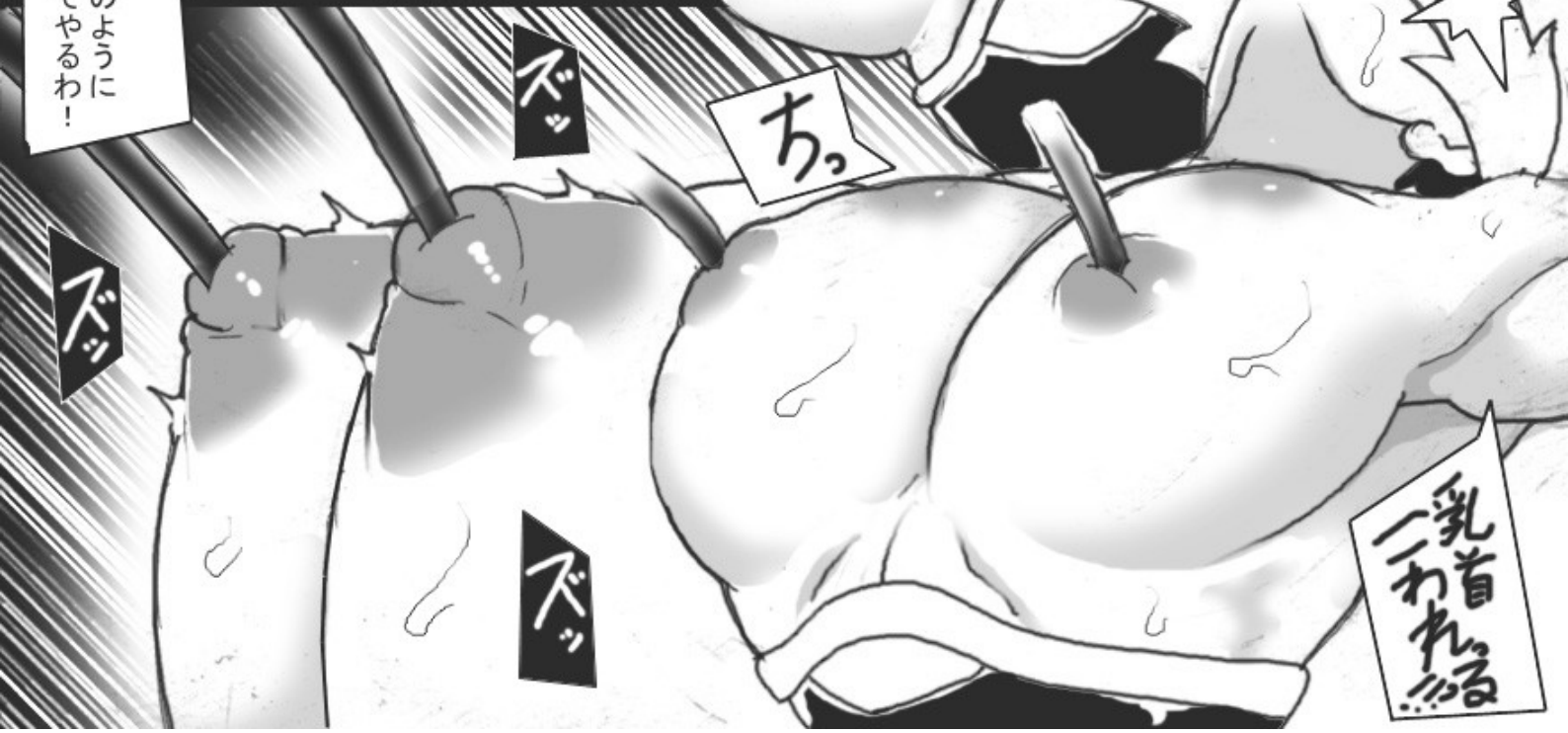


んん!!

ちゅ

ぶっ

洗夜のお前も
アタシ達彩河のように
淫妖の虜にしてやるわ!



ぶっ

ちゅ

ぶっ

ぶっ

乳首れる

そうしたらお前を
アタシのペットとして
可愛がってやるよ♪

ハムッ!?

ズブ

あッ

ズブ

さあ
受け入れなあ!

びっ
ラッラッ

コッ

コッ







気を練るのに
時間かかったけど...



私だって
洗夜の忍!
これくらいは
出来る!



なるほど淫妖の快樂にただ
抗っていたんじゃないかと
同時に靈力を溜めていたのか...



ニイッ...



カッッッ

